



名鉄病院 news letter

人に寄りそう 命と向き合う

平成29年 初冬号

病院機能評価認定について 予防接種センターの活動のご紹介



撮影：予防接種センター 大久保 恵

2017年10月に副院長を拝命した内分泌代謝内科の岡本秀樹です。1997年に名鉄病院へ赴任して以来20年の歳月を経ており、この間栄養サポート室長・糖尿病センター長・地域包括病棟の責任者を兼務してまいりました。病診連携の先生方から種々のご指導・ご鞭撻を頂き、厚く御礼申し上げます。

今後は、副院長として次の2点に取り組んでいきたいと思えます。第一に糖尿病センターの更なる充実と外部への発信です。次に、地域包括病棟の運用の向上です。後者については、その稼働率の上昇に伴い病院全体の病床管理のフローを円滑化することによって医療支援センターが進める地域連携構想に貢献できることを想定しております。多大な収益をあげる部署ではありませんが、部門間の隙間を埋め「きめの細やかな」医療を提供することで病院経営の下支えになればと考えております。今後ともよろしくお願い申し上げます。



名鉄病院 副院長

岡本 秀樹





病院機能評価認定について



副院長 佐尾 浩

当院は、平成29年6月に、日本医療評価機構の病院機能評価を受審し、無事合格しました。この病院機能評価は、その病院の提供している医療のレベルが一定のレベルに達しているかを、組織運営も含め、第三者により評価してもらう仕組みです。実は、当院は平成19年にすでに一旦認定されていますが、その後諸般の事情により、機構側と相談し認定更新はいたしませんでした。今回、新一号館完成をふまえ、改めて受審することとなりました。

審査にあたっては、①患者の権利が尊重された診療がおこなわれているか ②安全に配慮された診療がおこなわれているか ③診療内容が今日的なレベルにあるのか(ガイドラインの重視)④チーム医療が有効に機能しているか の4点が重要視されます。

当院でおこなわれている診療すべてをこの4つの観点から評価されます。審査に対応するため、約1年かけて準備をしました。はじめは、ルールづくり、マニュアル作りに時間をかけました。10年前の受審時にすでに基本的なマニュアルはできていましたが、この10年の時代の変化により、あらたなマニュアル作成も必要でした。たとえば、終末期医療に関するマニュアル、虐待に関するマニュアルなどです。説明と同意に関するマニュアルなど前回の受審時に整備したマニュアルもその多くは、なんらかの手直しが必要でした。

マニュアルの整備とともに、各医療現場でそのマニュアルを実施してもらう必要があります。今回の審査の大きな特徴は、症例トレース調査といって、代表的な症例を選び、その症例に関し、外来、入院決定、入院中から退院、までのあらゆる出来事をサーベイヤーから詳細に質問される審査があることです。この代表例を通じて医療現場でマニュアルが遵守されているのかがチェックされます。今回はこの症例トレース調査の対象病棟として当院の病棟から1-5A、1-6、3-2、3-3の4病棟に取り組んでもらいました。もちろん、選ばれた4病棟のみでマニュアルを遵守すればよいわけではなく、全部署での対応が必要ですが、とりわけこの4病棟の関係者は大変でした。審査当日の発表症例は病棟側で選択できますが、そうはいっても発表用の症例さえきちんとすればよいといった気持ちでは合格するわけではありません。

審査当日は、われわれが1年かけて準備し、日頃実施している医療をサーベイヤーにみてもらうことになります。その際、きちんと実施していることをサーベイヤーに理解してもらう必要があります。サーベイヤーの細かい質問に的確に答えることが必要です。その際、チーム医療という視点が重要です。発表症例にかかわった、医師、看護師はじめ、薬剤師、検査技師、放射線技師、栄養士、リハビリ担当者、ソーシャルワーカー、事務職員などあらゆる職種の皆さんにサーベイヤーからの質問に答えてもらいました。

審査は2日間にわたり、上述の4病棟の症例トレース調査以外に、幹部への面接調査、各部署への部署訪問など多岐にわたり、緊張の連続でした。

そして9月に無事合格した旨の連絡がありました。当院の職員にとり、おおきな自信となったことと考えます。今後は、この自信をかてに今まで以上に地域医療に貢献していきたいとかがえております。皆様方のご支援、ご鞭撻よろしく御願いたします。





予防接種センターの活動のご紹介



センター長 菊池 均

予防接種センターでは、表1に示す予防接種に関連する活動を行っています。予防接種センターの32年間の軌跡を図に示します。1985年開設当初週1回で開始した予防接種外来が、年々接種者が増え、特に海外渡航者向けの予防接種の希望者が増えました。東海北陸地域で渡航者向けワクチン接種を行っている施設がなかったため金沢、静岡など遠方からも多数受診するようになりました。2014年頃から施設が増え遠方からの受診は減り、名鉄沿線を中心に愛知・岐阜・三重の方が中心になってきました。東海地域は自動車関連等日本の産業の一大拠点であり、海外渡航や赴任は多いです。途上国に行くならA型肝炎、B型肝炎、破傷風含有ワクチン、日本脳炎、感染症など、欧米への渡航ではB型肝炎、破傷風含有ワクチン、感染症の他、子息の学校入学のためのワクチン接種と英文証明書を、ロシアやベトナムに長期行く人はVISA申請のための英文健康診断書が必要になります。英文証明書作成には、レターヘッドのある便箋を使用し、医師が直筆でサインするなどの決まりごとがあり、作成には注意が必要です。ワクチンは接種記録を残すことが重要です。海外渡航者には英文で接種記録（西暦接種日、ワクチン名、ロット番号、接種者サイン）を発行しています。特に狂犬病ワクチン接種は暴露後接種の際に暴露前接種情報は必須情報です。和文の領収書しか出さない施設が散見されますが、接種したことにならないので問題です。

ワクチン接種後は抗体確認するよう努めています。ワクチンは免疫をつけるための手段で、目的は免疫を付けることです。接種しても免疫が付かない事がありますので、商業ベースで測定可能な麻疹、風疹、おたふくかぜ、水痘、A型肝炎、B型肝炎については抗体価を測定しています。

最近のデータをお示しします。当院では、海外のA型肝炎ワクチン Havrixと、A型肝炎+B型肝炎混合ワクチン Twinrixを輸入しています。Twinrixにはワクチン成分としてHBs抗原が国産ワクチンの2倍の20 μ gと水酸化アルミニウムアジュバントが添加されています。接種後の年代別抗体陰性率を図2に示します。“陰性”率ですので値は低いほど良いです。年齢とともに抗体陰性率は上昇し、A型肝炎ではTwinrix<エイムゲン<Havrix、B型肝炎ではTwinrix<国産ワクチンで、Twinrixの免疫原性が高い結果になりました。B型肝炎ワクチンで免疫がなかなかつかない方は、Twinrixを検討すると良いでしょう。

麻疹、風疹、おたふくかぜ、水痘の抗体検査は、麻疹NT4以上、PA256以上、風疹HI 16以上、妊娠可能女性は32以上、ムンプスEIA/IgG 5.0以上、水痘EIA/IgG4.0以上、IAHA 4以上を陽性と判定しています。CF法は感度が低くて予防判定には使えません。詳しくは当センターホームページをご参照ください。

海外渡航のワクチン接種等、予防接種に関してお困りのことがありましたら当センターへご相談／ご紹介ください。

表1

活動内容

■ 予防接種外来

- 定期予防接種
- 任意予防接種
- 海外渡航者向け予防接種

■ 英文証明書作成

- 健康診断書
- 留学用予防接種証明書

■ 啓発活動

- 電話／FAX相談
(一般／医療機関／保険所等)
- 講演会開催
予防接種懇話会：年1回
東海渡航ワクチンセミナー：年2回

■ ワクチン接種の有効性検証

- 接種後抗体測定と評価

図1

予防接種外来から予防接種センターへ、32年間の軌跡

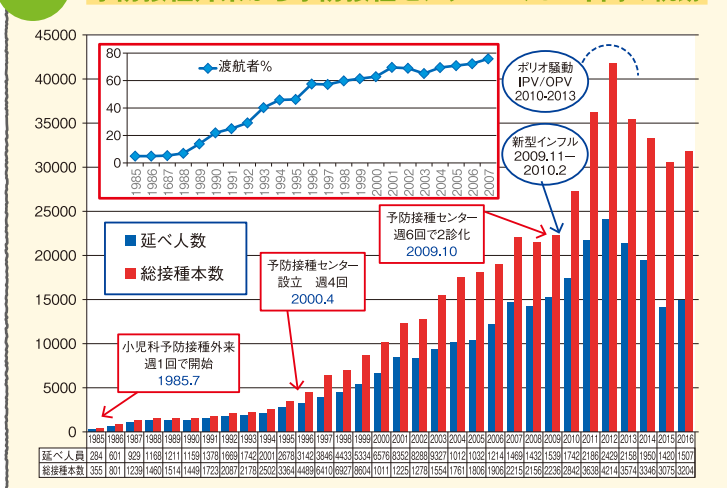
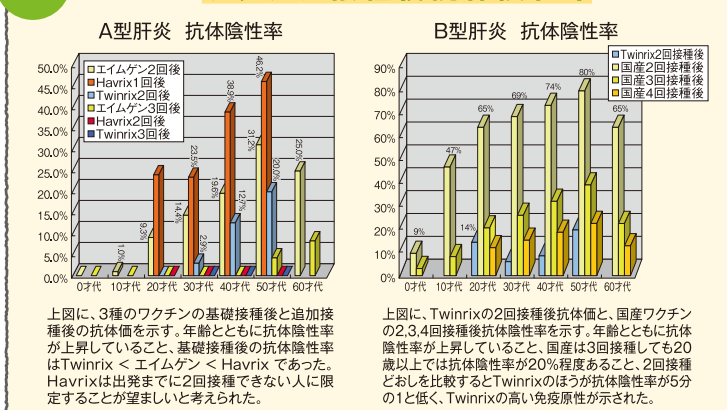


図2

ワクチン接種後抗体陰性率



第55回名鉄病院集談会の開催



10月28日名鉄ニューグランドホテルにおいて「第55回名鉄病院集談会」を開催いたしました。この会は、職員が日頃の研究成果などを地域の医療関係者の皆様に発表して連携を深めるために開催しているもので、2年ぶりの開催となりました。今回は、学術集会では基調講演として日本電信電話株式会社研究企画部門担当部長である是川幸士様に「医療健康×ICT」というテーマでご講演いただき貴重なお話しをお聞きました。続いて今年度の主な院内センターの発表として竹田センター長が「医療支援センターの現状と新たな展開」、成島副院長が「ウロギネセンターの現状と新たな展開」を発表しました。次に、ポスターセッションが行われ、当院の職員による11件の研究・医療活動を発表しました。その後の懇親会では皆様と親交を深めることができました。

※ICT=Information and Communication Technology



世界糖尿病デー企画の開催



「もしかしてわたしも糖尿病予備軍？」

買い物ついでにサクッと血糖(健康)チェック!

名鉄病院糖尿病センターでは、糖尿病の啓蒙活動を目的に、11月12日に名鉄百貨店で世界糖尿病デーのイベントを開催しました。体組成(体脂肪や筋肉量)測定や医師の相談、栄養士からの食事指導など、今年は260名の方に参加していただきました。今後も様々な活動を行ない、糖尿病の怖さや糖尿病予防の大切さを啓蒙していきたいと思ひます。



名鉄病院

〒451-8511 名古屋市西区栄生 2-26-11
URL <http://www.meitetsu-hospital.jp/>
TEL 052-551-6121 (代表)

診療科目

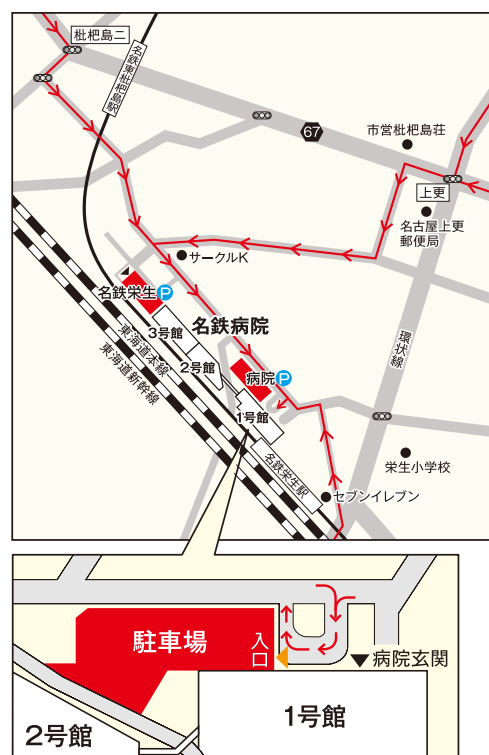
●内科 ●循環器内科 ●消化器内科 ●神経内科 ●血液内科
●内分泌・代謝内科 ●呼吸器内科 ●小児科 ●外科 ●整形外科
●消化器外科 ●リハビリテーション科 ●脳神経外科 ●婦人科
●皮膚科 ●泌尿器科 ●女性泌尿器科 ●耳鼻咽喉科 ●眼科
●放射線科 ●腎臓内科 ●病理診断科 ●麻酔科

診療センター

●予防接種センター ●健診センター ●ウロギネセンター
●認知症疾患医療センター ●関節鏡・スポーツ整形外科センター
●糖尿病センター ●内視鏡センター

専門外来 ※予約制(一部を除く)

●リウマチ膠原病内科 ●音声外来 ●禁煙外来 ●乳腺外来
●インスリン導入外来 ●スポーツ内科(他院からの紹介の方のみ)
●シルバークリニック ●小児慢性疾患外来 ●乳児健診 ●肝臓外来
●ストーマ外来 ●フットケア外来 ●ペースメーカー外来
●糖尿病眼合併症外来 ●ASO外来 ●糖尿病透析予防外来
●リウマチ外来 ●関節鏡外来 ●スポーツ外来
●小児整形外科外来<月1回/不定期> ●脊椎外来 ほか



3号館横の名鉄栄生②とあわせ、こちらでもご利用ください。
なおロータリーへの駐車は、他の方への迷惑となりますのでご遠慮願ひます。
※3号館→1号館へはバノアストリート(3階)で連絡しています。

1号館前に名鉄病院駐車場を整備しました。

病診連携・紹介状に関するお問い合わせは

地域医療連携室 TEL. 052-586-5755 FAX. 052-586-5756

本紙内容に関するお問い合わせは

事務部事務1課 TEL. 052-551-6299 FAX. 052-551-6711